

船舶事故等調査報告書

平成26年2月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2013那第28号
事故等種類	転覆
発生日時	平成25年5月27日 09時30分ごろ
発生場所	沖縄県名護市辺野古漁港沖 辺野古漁港の東側の防波堤突端から真方位137° 1,520m付近 (概位 北緯26° 30.4′ 東経128° 02.7′)
事故等調査の経過	平成25年5月31日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	小型兼用船 愛華丸、0.9トン ON3-05568（漁船登録番号）、個人所有 第296-11352号（船舶検査済票の番号）
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定
死傷者等	なし
損傷	主機警報盤及びオーニングが脱落
事故等の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、同乗者3人を乗せ、野鳥の生態調査の目的で航行中、辺野古漁港沖の岩場に野鳥が止まっていたので、同乗者に撮影させるため、岩場に船首を向けて近づいて漂泊した。 本船は、辺野古漁港沖の岩場付近で漂泊していたところ、船尾方から磯波を受けて上甲板に浸水したが、排水する前に次の磯波を受け、平成25年5月27日09時30分ごろ、転覆し、船長及び同乗者全員が海に投げ出された。 船長は、知人に救助を要請し、船長及び同乗者全員が救助され、本船は、辺野古漁港にえい航された。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南南東、風力 1、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の中央期
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	なし なし あり 本船は、辺野古漁港沖の岩場付近で漂泊中、船尾方から磯波を受けたことから、転覆したものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、辺野古漁港沖の岩場付近で漂泊中、船尾方から磯波を受けたため、転覆したことにより発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考え

られる。

- ・ 磯波の発生状況などについて、確認を行うこと。